



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

あけましておめでとうございます。2024年も明るく希望に満ち溢れる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。また、昨年中は、本校の教育活動につきまして、何かとご支援とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。さて、今の子供たちは、凧揚げ、こま、はねつき、かるた、すごろく、福笑い、手鞠などの遊びを知っているでしょうか。知ってはいるが実際にやったことがある子供はあまりいないのではないのでしょうか。時代とともにこのような遊びが廃れていくのは仕方のないことなのかもしれません。しかし、これらの遊びには何かよさが秘められているように思えます。凧揚げは、冬の季節風（北風）を利用してより高くより遠くに揚げる工夫を競い、こま回しは、よりながく回すための技を友だちと競う遊びです。また、かるたやすごろく、福笑いは、日頃忙しい家族が正月に顔を合わせともに興じる遊びです。このような遊びを通して、子供たちは日本の季節を感じ、それぞれの遊びに含まれる技術を磨き、人との関わり方を学んできたのだと思います。より新しいもの、より便利なものを求める風潮の中で、こうした文化や古いものの中にあるよさや素晴らしさに気づき、実体験を通して歴史や伝統を大切にする心を育てることも、私たち大人の役目ではないかと思います。



今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

冬休みを迎える会（朝会）

12月25日（月）、体育館で全校朝会を行いました。まず表彰式では、各種展覧会やコンクール等で入賞した児童に対し、全校でその検討を称えました。受賞した児童は右のとおりです。冬休みを迎える会では、ファーストペンギンを例に挙げ、「これからいろいろなことを学び、たくさんの人と関わり、新しい考えや新しい事を生み出す力、想像力を身に付けること。」「いろいろな人や考え方を受け入れる広い心と思いやりの心で人と接し、少しだけ勇気を出してファーストペンギンとして活躍してほしい。」という話をしました。

冬休み明け集会（全校集会）

1月9日（火）、体育館で全校集会を行いました。冬休み明け集会では、「人の幸せは物やお金ではなく、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされること、人から愛されることである。」「勉強や係の仕事など何をするのも、心を込めること、心から一生懸命に取り組むことが本当の幸せを感じとることができる。」「どんな事でも心を込めて行動することが人のため社会のためになり、自分自身の本当の幸せにつながる。」「今年一年、みなさん一人一人が幸せを感じとることができる素敵な一年になるよう願っている。」という話をしました。



最新情報は本校HPでご確認ください。



名 称	区分	学年・組	氏 名
河内地区理科研究展覧会	銅賞	6-1	大家 秀仁
		6-2	藤田 美彩
		3-2	大家 利仁
第46回栃木県学生音楽コンクール（弦楽器部門）	第1位	6-1	松尾 唯加
やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりポスターコンクール	佳作	5-2	久木田 明琳
第25回宇都宮ジュニア芸術祭学校美術展	平面の部	銀賞	6-2 谷中 俊介
		2-1	上野 未桜
		5-2	綱川 歩
		4-1	菊池 琴菜
	銅賞	3-2	山口 結衣
		1-2	岩崎 結愛
		1-1	君島 瑠夏
		4年	菊地 一
第51回宇都宮地区児童生徒作品展		2年	横瀬 暖人
		1年	堀越 杏
第39回宇都宮小学生バレーボール順位別グループ戦	第3位	宇都宮東バレーボールクラブ	
第17回宇都宮市民福祉の祭典福祉書道展	金賞	6-2	上野 真優花
	佳作	6-2	池田 あやめ
		5-2	高德 紗望

第25回宇都宮ジュニア芸術祭学校書道展			第25回宇都宮ジュニア芸術祭ジュニア文芸展			
金賞	2-2	高田 隼翔	詩の部	銀賞	1-1	飯島 優月
	1-2	横田 瑛亮		銅賞	4-1	奥村 夏梨
銀賞	6-2	高田 大翔	短歌		金賞	4-1
	6-2	上野 真優花		1-2		佐藤 花菜羽
	5-1	熊谷 寛乃	俳句の部	銅賞	1-1	田野 史枝
	4-1	佐藤 美日菜		金賞	5-2	竹田 愛菜
	4-2	荒木 康志	5-1		成廣 心菜	
	3-1	佐々木 琴音	銅賞	1-1	飯島 優月	
	2-1	築瀬 佑人	金賞	5-1	成廣 心菜	
銅賞	5-2	高德 紗望	川柳の部	銀賞	6-1	福島 陸生
	3-2	稲葉 優			4-1	佐藤 美日菜
	1-1	佐々木 桃乃		5-2	久木田 明琳	
最新情報は本校HPでご確認ください。 				銅賞	4-2	植木 ひまり
					4-1	鈴木 陽奈
					3-2	福島 菜緒
					3-2	小林 優希
					3-2	大家 利仁
					2-1	山下 千織

避難訓練（不審者対応）

1月12日（金）、不審者が授業中に北校舎1階に侵入した想定で訓練を実施しました。安全確認後、各教室で防犯に関する動画を視聴し、「いかのおすし」の約束事を確認しました。今後、地震や火事などの災害が発生し避難を余儀なくされた際、正常性バイアスに陥らないこと、自分の身は自分で守るために正しい判断が求められることについて話をしました。



学校保健給食委員会

1月18日（木）、学校医の遠藤秀樹先生をはじめPTA役員の皆様にご出席をいただき、学校保健給食委員会及びアレルギー対策委員会を開催しました。委員の皆様には、給食準備の様子を参観後、実際に給食を試食していただきました。遠藤先生からは、様々な感染症について、原因や予防策などの専門的なお話があり、とても勉強になりました。委員の皆様、お忙しい中大変お世話になりました。



学生ボランティア活動

学生ボランティアの 手塚 朋希（てつか ともき）さんをご紹介します。1月から3月まで、毎週火曜日と金曜日の2～4校時、主に児童の学習支援を行います。作新学院大学人間文化学部心理コミュニケーション科の3年生です。趣味は音楽鑑賞と散歩です。よろしくお願いします。



レジリエンス（回復力・弾力性・適応力）

新しい年が幕を開けました。2024年は辰年です。辰とは竜のことで空想上の生き物ですが、東洋では権力の象徴とされています。勉強や仕事で、学び続けてきたことや真面目に取り組んできたことが大きな結果につながる年、夢が実現する年になると言われています。ここで難しいのが、「学び続ける」「真面目に」のところです。日々の生活が便利で豊かなものになればなるほど、「地道に取り組む」「あきらめない」が難しくなってきます。子供たちに是非とも身に付けてほしい力があります。それが、「レジリエンス」です。「レジリエンス」とは、「回復力」「復元力」「耐久力」「再起力」「弾力」などと訳されており、「困難をしなやかに乗り越え回復する力」と言えます。「簡単にあきらめる」「途中で投げ出す」「すぐに人を頼る」「頑張りが続かない」など、困難や苦しい状況に直面し心が折れそうになった時に発揮する力です。このレジリエンスを高めるために重要なのが、自然体験や社会体験を通した様々な人との関わりです。学校で行う学習や学校行事、地域の行事や各種大会、家庭での手伝いなどの場面で、自分の力で最後までやり通したという経験の積み重ねが重要です。子供のレジリエンスを高めるために大人ができるポイントを4つ挙げてみます。



- ① 成功体験を積み重ねる。（小さな目標を小刻みに立てクリアさせる）
- ② お手本を見せる。（自分にもできると思えるお手本を見せる）
- ③ 過程を励まし褒める。（やればできるという気持ちが自信となる）
- ④ 前向きな気分で盛り上げる。（「あなたならできると思うよ」「きっとできるよ」の言葉かけ）



新年を迎え、今年一年で、子供たちの「レジリエンス」が少しでも高まることを望んでいます。さらに、次代を担う子供たちには、多様化・複雑化する社会の中で、新しい社会を切り拓き、自分らしさを見失うことなく幸せな人生を歩んでほしいと願っています。